

【ご参加のおさそい】

- 【一週忌】
二〇二五（令和七）年 往生
- 【二回忌】
二〇二四（令和六）年 往生
- 【三回忌】
二〇二三（令和二）年 往生
- 【四回忌】
二〇二二（平成二十四）年 往生
- 【五回忌】
二〇二一（平成二十二）年 往生
- 【六回忌】
二〇二〇（平成二十）年 往生
- 【七回忌】
二〇一九（平成十九）年 往生
- 【八回忌】
二〇一八（平成十八）年 往生
- 【九回忌】
二〇一七（平成十七）年 往生
- 【十回忌】
二〇一六（平成十六）年 往生
- 【十一年忌】
二〇一五（平成十五）年 往生
- 【十二年忌】
二〇一四（平成十四）年 往生
- 【十三年忌】
二〇一三（平成十三）年 往生
- 【十四年忌】
二〇一二（平成十二）年 往生
- 【十五年忌】
二〇一一（平成十一）年 往生
- 【十六年忌】
二〇一〇（平成十）年 往生
- 【十七年忌】
二〇〇九（平成九）年 往生
- 【十八年忌】
二〇〇八（平成八）年 往生
- 【十九年忌】
二〇〇七（平成七）年 往生
- 【二十年忌】
二〇〇六（平成六）年 往生
- 【二十一回忌】
二〇〇五（平成五）年 往生
- 【二十二回忌】
二〇〇四（平成四）年 往生
- 【二十三回忌】
二〇〇三（平成三）年 往生
- 【二十四回忌】
二〇〇二（平成二十二）年 往生
- 【二十五回忌】
二〇〇一（平成二十）年 往生
- 【二十六回忌】
二〇〇〇（平成十九）年 往生
- 【二十七回忌】
一九九九（平成十八）年 往生
- 【二十八回忌】
一九九八（平成十七）年 往生
- 【二十九回忌】
一九九七（平成十六）年 往生
- 【三十回忌】
一九九六（平成十五）年 往生
- 【三十一回忌】
一九九五（平成十四）年 往生
- 【三十二回忌】
一九九四（平成十三）年 往生
- 【三十三回忌】
一九九三（平成十二）年 往生
- 【三十四回忌】
一九九二（平成十一）年 往生
- 【三五回忌】
一九九一（平成十）年 往生
- 【三十六回忌】
一九九〇（平成九）年 往生
- 【三十七回忌】
一九八九（平成八）年 往生
- 【三十八回忌】
一九八八（平成七）年 往生
- 【三十九回忌】
一九八七（平成六）年 往生
- 【四十回忌】
一九八六（平成五）年 往生
- 【四十一回忌】
一九八五（平成四）年 往生
- 【四十二回忌】
一九八四（平成三）年 往生
- 【四十三回忌】
一九八三（平成二十二）年 往生
- 【四十四回忌】
一九八二（平成二十）年 往生
- 【四五回忌】
一九八一（平成十九）年 往生
- 【四十六回忌】
一九八〇（平成十八）年 往生
- 【四十七回忌】
一九七八（昭和五十二）年 往生
- 【四十八回忌】
一九七七（昭和五十一）年 往生
- 【四十九回忌】
一九七六（昭和五十）年 往生
- 【五十回忌】
一九七五（昭和四十九）年 往生
- 【五十一回忌】
一九七四（昭和四十八）年 往生
- 【五十二回忌】
一九七三（昭和四十七）年 往生
- 【五十三回忌】
一九七二（昭和四十六）年 往生
- 【五十四回忌】
一九七一（昭和四十五）年 往生
- 【五五回忌】
一九七〇（昭和四十四）年 往生
- 【五十六回忌】
一九六九（昭和四十三）年 往生
- 【五五回忌】
一九六八（昭和四十二）年 往生
- 【五五回忌】
一九六七（昭和四十一）年 往生
- 【五五回忌】
一九六六（昭和四十）年 往生
- 【五五回忌】
一九六五（昭和三十九）年 往生
- 【五五回忌】
一九六四（昭和三十八）年 往生
- 【五五回忌】
一九六三（昭和三十七）年 往生
- 【五五回忌】
一九六二（昭和三十六）年 往生
- 【五五回忌】
一九六一（昭和三十五）年 往生
- 【五五回忌】
一九六〇（昭和三十四）年 往生
- 【五五回忌】
一九五九（昭和三十三）年 往生
- 【五五回忌】
一九五八（昭和三十二）年 往生
- 【五五回忌】
一九五七（昭和三十一）年 往生
- 【五五回忌】
一九五六（昭和三十）年 往生
- 【五五回忌】
一九五五（昭和二十九）年 往生
- 【五五回忌】
一九五四（昭和二十八）年 往生
- 【五五回忌】
一九五三（昭和二十七）年 往生
- 【五五回忌】
一九五二（昭和二十六）年 往生
- 【五五回忌】
一九五一（昭和二十五）年 往生
- 【五五回忌】
一九五〇（昭和二十四）年 往生
- 【五五回忌】
一九四九（昭和二十三）年 往生
- 【五五回忌】
一九四八（昭和二十二）年 往生
- 【五五回忌】
一九四七（昭和二十一）年 往生
- 【五五回忌】
一九四六（昭和二十）年 往生
- 【五五回忌】
一九四五（昭和十九）年 往生
- 【五五回忌】
一九四四（昭和十八）年 往生
- 【五五回忌】
一九四三（昭和十七）年 往生
- 【五五回忌】
一九四二（昭和十六）年 往生
- 【五五回忌】
一九四一（昭和十五）年 往生
- 【五五回忌】
一九四〇（昭和十四）年 往生
- 【五五回忌】
一九三九（昭和十三）年 往生
- 【五五回忌】
一九三八（昭和十二）年 往生
- 【五五回忌】
一九三七（昭和十一）年 往生
- 【五五回忌】
一九三六（昭和十）年 往生
- 【五五回忌】
一九三五（昭和九）年 往生
- 【五五回忌】
一九三四（昭和八）年 往生
- 【五五回忌】
一九三三（昭和七）年 往生
- 【五五回忌】
一九三二（昭和六）年 往生
- 【五五回忌】
一九三一（昭和五）年 往生
- 【五五回忌】
一九三〇（昭和四）年 往生
- 【五五回忌】
一九二九（昭和三）年 往生
- 【五五回忌】
一九二八（昭和二）年 往生
- 【五五回忌】
一九二七（昭和一）年 往生
- 【五五回忌】
一九二六（昭和零）年 往生

群生海

ぐんじょうかい

専宗寺(せんそうじ)だより

NO.79 2025(令和7)年12月
812-0851 福岡市博多区青木1-13-20
電話番号 092-611-7541
FAX 092-611-7300
郵便振替 01790-3-75377

わげんあいご せんにじょうもん

和顔愛語 先意承問

経典「仏説無量寿經」に説かれる言葉です。

如来となる菩薩が積まれる行のひとつとして

「和やかで穏やかな笑顔と慈愛に満ちたあたたかい言葉を発し
相手の意を先にして思いやり行動する」

という意味があります。

宗教は、何かをしないといけないと思っておられる方が多いように思います。仏教においても、もちろん仏事作法はそれぞれ意味があるのでされるに越したことはありませんが、一方で仏教は「生き方を問わない」という面も持っています。特に阿弥陀如来は、衆生に何も求めることなく無上の安穏を与えると誓いました。

では仏教は何を説いているのか。「こう考てはどうか・こう受け取ってはどうか」というメッセージが仏教にはあります。「和顔愛語」の私になるよりも、まずは今の私の回りにある「和顔愛語」のはたらきに気付き、受け取っていくことです。そうすると、「今の私はどういうものか」がよく見えてくると思います。思いやりや願いの中の私が見えてきたならば、それが仏教の願いの始まりでもあります、すべてもあるといえるでしょう。

元旦修正会

おつとめ：1月1日11時より

- おつとめの時間以外もいつでもご参拝いただけます。
- 本堂でお正月の記念品を先着順でお配りしますのでどうぞ本堂にご参拝下さい。
- 1日～3日は、門徒会館をお茶所といたします。（お茶はセルフサービスです）
どうぞごゆっくりおくつろぎ下さい。

専宗寺では、長年親鸞聖人の命日である十六日におつとめと短いご法話をさせていただいています。仏教婦人会の定例会を兼ねていて参加者も仏教婦人会会員のみでした。この度、せっかくの月例法要なので、広くご参加をお願いしたらどうかという声がありましたので、二〇二六年一月より誰でもご参加いただける定例法要と致します。ご参加ご希望の方はお気軽にご参加下さい。

御仏前はされなくとも結構です。

【内容】

読経と法話 三〇分前後

その後茶話会を開いております。
(茶話会の参加は自由)

新納骨堂 新規（第2期）加入申込受付中です

昨今の物価高騰に伴い、建設費、納骨壇設置費等も上がったため、昨年より、建設委員会合意のもと、全ての壇の納骨堂加入費を上げさせていただいております。

- 一般壇 Aタイプ（220万円）
- 一般壇 Dタイプ（120万円）背が低く奥行きがあるタイプ（Bタイプは終了）

どちらも数量に限りがあります。増壇の予定はありますが設置時の行政手続きに時間を要します。早めのご検討、お声かけをお願いいたします。

また、少人数用の永代供養壇もご用意しております。詳しくは専宗寺までご相談下さい。



一般壇Aタイプ



一般壇Dタイプ



少人数永代供養用